**第２次玉名市男女共同参画事業計画（平成２５年度～平成２９年度）**

資料1

**平成29年度実施状況報告**

この報告には、玉名市男女共同参画計画に関する施策の中から、主な事業を抜粋して掲載しております。

**重点目標Ⅰ･･･　男女共同参画の意識づくり**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **施策の基本方向** | **主要施策** | **具体的な取り組み** | **平成29年度の実施状況** | **担当課** |
| **１　男女の人権の尊重** | **（１）人権尊重の理解と認識** | 人権意識を高めるための教育や啓発の推進 | 平成29年8月19日（土）に玉名市民会館において人権教育研究大会を開催。講師：和田要氏　演題「人権と災害　～熊本地震からの課題～」参加者504人　開催回数1回 | 生涯学習課H29 |
| 児童生徒より募集した人権啓発ポスターや標語を、研究大会や人権週間の期間に展示し啓発を行った。応募：ポスター　　145点　　 　標 語 　165点展示回数：2回 | 生涯学習課H29 |
| 「人権の花運動」を通して花の世話に関わる中で、高学年の児童が低学年の児童の手助けをするなど経験し、小学生が助け合いの大切さを実感していた。風船で飛ばした種を拾ったという手紙や電話が各地から届き、子どもたちが大変喜んでいた。平成29年度は睦合小学校で実施。 | 人権啓発課H29 |
| 10月7日（土）横島町公民館において、男女共同参画フォーラムを開催。外国人講師による、国際理解や多様な生き方、また地域や家族の絆を大切にすることなど、男女共同参画社会形成について、幅広い世代に効果的な啓発ができた。参加人員：150名 | 人権啓発課H29 |
| 広報紙、HPにて、「男女共同参画社会をめざして」と題して、男女共同参画に関連した事柄について記事を掲載し、啓発した。 |
| 男女共同参画の視点による人権を守る環境づくり | 7月1日から7月31日の期間に、チラシ配布や車両による広報活動を行い、街頭啓発を実施した。配布場所：玉名駅前、ツタヤ、マツモトキヨシ、ダイレックス、マルエイ（築地、岩崎、伊倉）、ゆめタウン、ナフコ、草枕温泉、横島ゆとりーむのぼり旗設置：中央公民館、玉名駅、こころピア | 生涯学習課H29 |
| 毎号、広報の校正の段階で、不適切な表現等がないかチェックし、人権や男女平等に配慮した表現を心がけた。 | 人権啓発課H29 |
| **（２）あらゆる暴力の根絶** | セクシュアル・ハラスメントの防止対策と啓発 | 各学校において不祥事防止研修計画に基づき実施した。学年部から研修内容を提案するなど、ボトムアップの研修を実施する学校も増加している。 | 教育総務課H29 |
| 「あらゆる暴力」を許さない意識づくり | ・広報紙に年１回、ホームページに常時掲載し相談体制の周知を行っている。・民生委員会議での周知、県女性相談センターや婦人相談員連絡協議会での情報共有、また関係課と常時連携を図りながら必要に応じてケース会議を実施している。 | 子育て支援課H29 |
| １１月の女性に対する暴力をなくす運動及び児童虐待防止にちなみ、パープルリボン、オレンジリボン運動を実施し、啓発を行った。広報誌とＨＰでDV、デートDVについて啓発を行った。 | 人権啓発課H29 |
| 子ども・高齢者などの弱者に対する虐待防止に向けた取り組みの推進 | 高齢者教室にて「人権について」講演を２回行い啓発活動に取り組んだ参加者計約70人 | 生涯学習課H29 |
| ・玉名市要保護児童対策及びＤＶ防止対策等地域協議会代表者会議：1回・実務担当者会議：１回・学習会（他機関への説明等）：1回・児童虐待について　実人員93人　ケース検討会議140回・DV来所相談　実人員9人　述べ件数49件　 | 子育て支援課H29 |
| 虐待における早期発見と早期対応に努め、各機関との連携を図ってきた。困難事例の増加とともに重篤なケースも多く、ますます重要な虐待対応と解決の意識づくりを要する。 | 高齢介護課H29 |
| ・各事業の実施と併せて、地域の子育て相談役である母子保健推進員や関係機関等と協力しながら情報把握に努めている。・必要に応じて関係機関と連携しながら、本人や家族と面談・ケース検討を行い、虐待の防止と早期発見に努めている。 | 保健予防課H29 |
| ①相談支援事業所と協力しながら、当事者や家族の相談等に対し、アドバイス等を行った。巡回相談については、利用者が少ないためH28年度より中止。地域での早期発見のため各市町の保健師との意見交換会などを開催し、各関係機関との連携強化に努めた。 | 総合福祉課H29 |
| ②２８年度からの継続調査中であった１件は虐待行為が認められた、再発防止に向けた対応を確認した。２９年度虐待通報1件。当事者宅を訪問し助言等を行った。 |
| 被害者に配慮した相談体制の充実 | 養育費や生活困窮者の相談などの研修会に参加し、研鑽して相談体制の充実を図っている。 | 子育て支援課H29 |
| 乳幼児健診や家庭訪問等を通して、対象者との信頼関係を築きながら相談者の話を傾聴し、気軽に相談できる体制づくりに努めた。相談内容に応じて関係各課につなぐ、また、ケース会議を開催するなど問題解決につながるよう支援した。また、相談技術のスキルアップのための研修会や生活安心ネットワーク委員会等へ職員が交代で参加した。 | 保健予防課H29 |
| ①毎月1回、課と包括の会議を開き連携強化を図った。②県等主催の研修会への参加や介護サービス事業所職員に対する研修会を開催した。③医療、介護等の多職種が情報の共有を図り、高齢者の個別課題の解決に努めた。 | 高齢介護課H29 |
| 手話通訳者の設置の利用は毎月平均２０件以上ある。手話通訳者の設置は、聴覚障がい者のみならず、健聴者にとっても非常に有益である。 | 総合福祉課H29 |
| 年間4回に「生活安心ネットワーク委員会」会議を開催し、困難事例対応等の研修を通して、委員会と委員の役割・意義の再確認を行い、相談員・職員の意識の統一と資質の向上を図った。　また、相談内容により関係課及び支援機関と連携し個別ケース会議を開催。問題が解決するまで、複数回の会議を実施した。 | くらしサポート課H29 |
| **施策の基本方向** | **主要施策** | **具体的な取り組み** | **平成29年度の実施状況** | **担当課** |
| **２　男女共同参画の視点に立った教育・保育・学習の推進** | **（１）家庭・地域社会における男女共同参画の意識づくり** | 固定的性別役割分担意識の改革と慣行の見直し | 年齢・性別を問わず、正しい冠婚葬祭マナーを身に着けることによって、あらゆる場面で一人ひとりが自信をもってふるまえるように、冠婚葬祭マナー講座（慶事・弔事・食事のマナー編の3回シリーズ）を開催した。 | 人権啓発課H29 |
| 家庭教育・社会教育における学習機会の充実 | 男女共同参画週間である６月に、図書館に特設コーナーを設け、男女共同参画に関連する書籍を設置した。 | 人権啓発課H29 |
| 九州看護福祉大学と共催で市民向けの公開講座の5回分を共催した。 |
| 「男女共同参画特集」を各館の特設コーナーとして設置したことで、利用者への啓発につながった。また、ＨＰに掲載したことにより、より一層の周知が図られた。 | コミュニティ推進課H29 |
| **（２）就学前・学校教育における男女共同参画の意識づくり** | 子どもの発達段階に応じた男女平等教育の推進 | 親子パン作り講座や、クリスマスケーキ作り等では子供たちが、自分でできることを探し協力して取り組み、楽しんでいた。今後の課題は、性別にとらわれない講座の構成、募集方法を検討し、参加しやすい環境の構築が必要である。 | コミュニティ推進課H29 |
| 教職員や保育士などへの研修の充実 | ・保育士不足のため、市主催の男女共同参画の研修に参加することはできなかった。　　・男性保育士の働きやすい職場については、園長会等で適宜取り上げ、改善するよう努めている。 | 子育て支援課H29 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **施策の基本方向** | **主要施策** | **具体的な取り組み** | **平成29年度の実施状況** | **担当課** |
| **３　男女共同参画啓発活動の充実** | **（１）広報・啓発活動の充実** | 市の広報紙などを活用した啓発の充実 | 広報で、関連用語や法改正等について掲載し啓発を行った。 | 人権啓発課H29 |
| 講演会や講座などの開催 | 市民が気軽に講座へ参加できるよう、また、興味を持てるよう、講座タイトルやチラシの作製を工夫した。 | 人権啓発課H29 |
| 男女共同参画フォーラムでは、国際理解や、多様な生き方、地域や家族の絆といった面を通じて、男女共同参画を幅広い世代等に啓発を行う事ができた。 |
| 男女共同参画に関する調査の実施と情報の収集や提供 | 広報誌とホームページに、「男女共同参画社会をめざして」の記事を連載した。平成29年度は6回掲載。 | 人権啓発課H29 |
| 国や県の男女共同参画社会推進事業を、広報誌またホームページに掲載し地域活動や、事業所等での取組に活用できるようにした。 |
| すでに実施した講座について追跡調査を行い、講座受講後にどのような変化があったかなどを調査した。あわせて男女共同参画関連用語の認知度も尋ねた。 |

**重点目標Ⅱ･･･　男女共同参画の環境づくり**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **施策の基本方向** | **主要施策** | **具体的な取り組み** | **平成29年度の実施状況** | **担当課** |
| **１ 政策・方針決定過程への女性の参画の拡大** | **（１）政策・方針決定過程への女性の参画促進** | 市における審議会等への女性委員の登用目標設定及び進捗状況調査の実施 | ・女性登用の少ない委員会等へは、現状の把握及び今後の女性登用を推進し、女性人材リスト活用も併せて啓発を行った。・女性活躍推進法の制定に伴い、市においても「玉名市特定事業主行動計画」が策定され、公表した。 | 人権啓発課H29 |
| 管理職や地域活動等の指導的立場への積極的な女性の登用 | 関連団体へ女性委員の登用を推進したが、あまり効果は見られなかった。 | 商工政策課H29 |
| 6次産業化において女性の果たす役割は大変大きく、女性の農業分野での地位向上など大きく寄与している。 | ふるさとセールス課H29 |
| 直接該当する事業はなかったが、「景観づくり交流会」に積極的に参加してもらい、発言していただくとともに、「イチオシ景観」の応募を通して、意見を提出してもらった。 | 建設課H29 |
| 玉名市公民館支館長には、数値目標に掲げる21名中3名の女性登用を実現できた。今後も積極的に促していきたい。 | コミュニティ推進課H29 |
| 「玉名市女性人材リスト」の整備と積極的活用 | 都市計画審議会では、「女性人材リスト」を活用している。景観審議会については、景観計画策定委員会からの継続を基本としていたため、活用はしていない。 | 建設課H29 |
| ・女性人材リスト新規登録１名があった。・女性人材リスト活用のため、庁内イントラネットで定期的な周知を行った。 | 人権啓発課H29 |
| 明るい選挙推進委員会において、選挙管理委員会推薦枠の委員を「女性人材リスト」から推薦した。全体で女性委員２名となった。 | 選挙管理委員会事務局Ｈ29 |
| 市における委員選定の際の男女共同参画担当課との協議と公募制の導入 | 公募制の導入は進んできている。 | 人権啓発課H29 |
| **（２）女性のエンパワーメントの支援** | 女性の能力開発と能力発揮のための支援 | 男女を問わず、人材育成のための研修を積極的に行っている。Ｈ29年度は主査・主任級女性職員を対象に研修とフォローアップを実施した。 | 総務課H29 |
| 県地域リーダー育成研修へ、一般から５０歳代の女性1名を派遣することができた。 | 人権啓発課H29 |
| 県主催の女性人材育成関連研修等の周知を行った。 |
| 現在8団体ある「女性の会」同士で状況報告及び意見交換を行うことができた。 | 生涯学習課H29 |
| 玉名管内での女性農業委員研修や県女性農業委員研修等への積極的な参加があり、充実した学習や体験の機会の拡充を図ることができた。・開催回数　４回・参加人数（延べ人数）　13名 | 農業委員会事務局H29 |
| 講座などにおける託児の実施 | 託児室設置11回、子供利用33名託児スタッフ10（H29年度2名増員）託児室設置により、安心して講座等へ参加者できるよう環境を整えた。 | 人権啓発課H29 |
| 講演会のターゲット次第では託児利用が多数あると思われるため、今後もチラシ等での無料託児の周知を行って利用促進を図っていく。 | コミュニティ推進課H29 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **施策の基本方向** | **主要施策** | **具体的な取り組み** | **平成29年度の実施状況** | **担当課** |
| **２ ワーク・ライフ・バランスを実現するための環境づくり** | **（１）働く場での男女共同参画の推進** | 働く場での男女平等に向けた啓発活動の推進 | ＨＰに「働き方改革」について掲載し、仕事と家庭生活等の充実が図られるよう推進した。また、働き方改革のセミナー等の周知を行った。 | 人権啓発課H29 |
| 農林水産業・商工業など自営業における男女のパートナーシップの推進 | 家族経営協定締結件数は平成29年度実績で556件であり目標数値は到達している。今後も、協定締結の戸数増加を促す。 | 農林水産政策課H29 |
| 自己能力や生産技術・管理能力などを高めるための学習支援 | 男女共同参画係と連携し、商工会・商工会議所を通じ、セミナー等の情報を提供した。 | 商工政策課H29 |
| **（２）仕事と家庭生活の両立支援** | 育児・介護休業制度などの周知と利用促進 | 新規採用職員研修の際に説明を行うとともに、男性職員には短期の育児休業の取得を促している。育児休業取得者17名・介護休業取得者0名（短期介護休暇取得者数3名） | 総務課H29 |
| 創業セミナー受講者に対し、産前産後・育児休業者に対する助成金を紹介し制度の周知を図った。 | 商工政策課Ｈ29 |
| 仕事と子育て・介護が両立できる環境づくり | 病児病後児保育施設利用者数：614人ファミリーサポートセンター利用件数：1,985件 | 子育て支援課H29 |
| ・延長保育20ヵ所で実施。平均対象児童数見込数：155人・一時預かり保育8所で実施。延べ利用児童数：6416人　　　　　　 |
| 1. 介護保険を必要とされる方へのサービス提供
2. 認知症ﾌｫｰﾗﾑ等を開催し高齢者に周知を図る。

③高齢者世帯に必要な支援を提供 | 高齢介護課H29 |
| ・両親学級を毎週金曜に開催。参加者216人。・母子手帳交付時にパパ手帳や孫育て手帳（祖父母向け）を配布し、子育てに関する意識向上を図った。・両親学級を通して、妊娠中の健康管理や精神的支援の大切さについて啓発を行った。・母子手帳交付時にプレパパ・プレママ学級のチラシ配布し、参加呼びかけた。・ハイリスク妊婦への支援充実に向けてＨ２９年度より利用者支援事業（母子型）を実施。 | 保健予防課H29 |
| 男性、子どもにとっての男女共同参画の推進 | 「男性の料理教室」をしている、「たまな元気会」や男性を中心とした「むしゃもん塾」等を紹介した。 | 高齢介護課H29 |
|  |
| **施策の基本方向** | **主要施策** | **具体的な取り組み** | **平成29年度の実施状況** | **担当課** |
| **３　あらゆる分野における男女共同参画の推進** | **（１）地域社会における男女共同参画の推進** | 地域社会での男女平等と社会参画の推進 | 広報紙とホームページにおいて、「防災と男女共同参画」や「働き方改革」について掲載し、意識向上と啓発を推進した。 | 人権啓発課H29 |
| 各種ボランティアの育成と協働 | 県主催の地域リーダー育成のための研修に一般から1名の参加があった。毎年、地域の一般参加を募るため広く呼び掛けが必要である。 | 人権啓発課H29 |
| 登録団体：74団体情報発信：271件ｱｸｾｽ数：10,988件 | 企画経営課H29 |
| ＰＴＡ家庭教育部の活動として講演会と防災視察研修を開催した。 | 生涯学習課H29 |
| **（２）国際的理解の推進** | 国際理解のための学習機会などの充実 | 各中学校区にＡＬＴを１人づつ配置し校区の小学校を含み、各学校で外国語活動を実施できた。玉名市独自のエンジョイ・イングリッシュも各小学校で常時実施できた。低学年から外国語に親しむ本活動は、中学校から始まる英語(教科としての外国語）に子ども達を滑らかに接続することができている。玉名学の中で、国際交流事業を実施した。 | 教育総務課H29 |

**重点目標Ⅲ･･･　男女がともに自立し、豊かで安心して暮らせる社会づくり**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **施策の基本方向** | **主要施策** | **具体的な取り組み** | **平成29年度の実施状況** | **担当課** |
| **１ 生涯を通じた健康づくりの支援** | **（１）心身の健康づくり支援の充実** | 各種健診事業などの充実と受診率向上 | ・広報誌やHPでの周知及び乳幼児健診などで若い世代への呼びかけ、未受診者への受診勧奨を行ったため、結核・肺がん、子宮頸がん、乳がん検診の受診率が微増となった。・妊婦健診１４回分の費用助成を実施した。里帰り出産のための健診費用助成についても継続実施した。・母子手帳交付時に妊婦健診受診の必要性について啓発行った。・熊本県では熊本型早産予防対策事業が開始となり、今後玉名市での実施についても検討していく。 | 保健予防課H29 |
| 食育・健康教育・相談事業の充実 | 健康食育フェアでは、食と健康の関係は関係が深いことから「生活習病予防」をテーマに講演会を開催した。参加者200人体験、展示コーナーでは、血圧、血糖値測定、歯科検診、歯科相談、フッ素塗布・ブラッシング指導を実施し、親子での参加多く見られた。 | 保健予防課H29 |
| 心血管疾患につながる可能性の高い対象者の推移＊Ⅱ度以上高血圧H２５：５．９％　→　H２９：５．５％＊Ⅲ度高血圧H２５：０．９％　→　H２９：１．１％＊HbA１c６．５以上H２５：８．８％　→　H２９：１０．６％ |
| 1. 年間44回開催し626人参加し低栄養の意識啓発を図った。
2. 年間31回開催し483人参加し、介護予防・認知症予防等について意識啓発を図った。
 | 高齢介護課H29 |
| ・子どもの頃から、栽培、収穫、調理を実践することで、食育への興味を深め、命あるものへの感謝、また作る人への感謝の気持ちを育てることができる。・２か月に１回程度、親子クッキングを土曜日に開催したことで、父親の参加が増えた。 | 子育て支援課H29 |
| 男女がともに参加しやすい生涯スポーツ推進体制の整備 | スポーツレクリエーションでは、スポーツ推進員の働きかけにより、多くの市民に参加を促し、健康づくりを支援した。 | 生涯学習課H29 |
| **（２）教育・学習事業の推進** | あらゆる学習の場を通じた性と生命の教育の推進 | ・築山小５年生と保護者158人対象・玉名中２年生195人、岱明中１年生101人、玉南中１年生45人（計341人）対象・玉名高校定時制2～3年生14人対象健康教育を実施 | 保健予防課H29 |
| ・月１回の各避難訓練を通して、機敏に避難することが身につき、命の大切さに気づくことができている。・小動物に関するおう絵本や図鑑を見ることで興味を高め、命を大切にする気持ちが芽生えている。 | 子育て支援課H29 |
| 「性と生殖に関する健康/権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）」の理念についての啓発活動の推進 | ・各事業を通した啓発とともに、母親の思いに寄り添った支援の実施に努めた。 | 保健予防課H29 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **施策の基本方向** | **主要施策** | **具体的な取り組み** | **平成29年度の実施状況** | **担当課** |
| **２　子育て支援、高齢者などへの支援と暮らしやすい環境の整備** | **（１）安心して産み育てられる支援の充実** | 子育てに関する情報と学習機会の提供 | ・毎週金曜に母子手帳交付及び両親学級（参加216人）を開催。パパ手帳や家族に向けた妊婦支援の資料を配布して説明行った。・健診や育児学級等では、母親の思いを傾聴し、相談対応や助言行うとともに、子どもの成長・発達に合わせたかかわり方についての資料配布や地域の子育て支援センターの紹介を行った。 | 保健予防課H29 |
| 保育参観等に、父親の参加が少しずつ増えてきている。父親の子育てへの関心と意識が高まってきている。 | 子育て支援課H29 |
| 母子保健の充実と健康支援 | ・母子手帳交付503人（新規）、両親学級参加216人。妊娠中の健康管理や栄養面について説明。・母子保健推進員による妊婦訪問、相談404件。乳児訪問、相談317件。・乳幼児健診を92回／年実施。さくらんぼ学級や育児栄養相談については、２４回／年実施。・産後ママビクス１６回／年、ＢＰプログラム１２回／年開催。・乳幼児健診時に親に向けた若人健診の受診勧奨行う等、それぞれの事業を通じた親子との関わりの中で、健康づくりの大切さについて説明し、意識の向上図った。・乳幼児健診未受診児については、家庭訪問や電話での受診勧奨などを実施した。 | 保健予防課H29 |
| ひとり親家庭への生活自立支援 | ・児童扶養手当受給資格者　669人（うち全部支給停止者78人）・母子家庭等自立支援給付金事業　　2人・母子家庭等高等技能訓練促進費支給事業　12人・ひとり親家庭等医療費助成　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　880人認定  | 子育て支援課H29 |
| 子育て支援体制の充実 | ・さくらんぼ学級（参加358組）では座談会を行い、親同士の仲間づくりを支援した。・子育て支援センターとの情報交換会を３回／年開催し、地域の子育てに関する現状について意見交換行った。・各地区にて毎月母子保健推進員の定例会を開催して知識習得を図るとともに、子育て広場を開催して地域の子育て支援の充実を図った。・子ども・若者とメディアを考える会では、「関係機関が連携して子育て世代や次世代を見守り、支えあう地域を目指して」というテーマのもと、保育園等の関係機関とともに目指す地域づくりについて検討行った。 | 保健予防課H29 |
| 市内６か所の施設でそれぞれ特徴を生かした活動で、子育て親子の触れ合いの場、憩いの場として定着している。平成29年度、6拠点での述べ利用者数：44,995名 | 子育て支援課H29 |
| **（２）高齢者・障がい者、外国人等が安心して暮らせる環境の整備** | ｢自分らしく｣過ごせるライフスタイルの実現と健康支援 | ①玉名市地域包括支援センターと連携し、高齢者が自宅で安心安全な生活がおくれるよう努めた。②各地区でウオーキング、演芸会、料理教室、小学校へのボランティア清掃等を企画、実践し住民による自主活動が活発化してきている。 | 高齢介護課H29 |
| 高齢者・障がい者の｢介護する方・される方｣双方の支援 | 護相談支援事業所と協力しながら、当事者や家族の相談等に対応し、アドバイスやサービスの支給決定を行った。 | 総合福祉課H29 |
| 1. 介護保険を必要とされる方へのサービス提供

認知症フォーラム等を開催し高齢者に周知を図る。③高齢者世帯に必要な支援を提供。 | 高齢介護課H29 |
| 高齢者などの社会参画及び就業支援 | ①相談支援事業所や障がい者就業生活支援センター「きずな」と連携して行うことができた。②就労部会についても、就労継続支援事業も交え意見交換会を実施するなど、広域的に取り組むことができた。 | 総合福祉課H29 |
| 高齢者を中心にパソコン講座を開催し、就業に必要な技術等の習得に努めた。 | 高齢介護課H29 |
| さまざまな困難を抱えている人々が安心して暮らせる環境の整備 | 男女共同参画フォーラムの講師は外国人であり、足に障がいをもっている。それを乗り越えて国際的に多方面で活躍している。多様な生き方や障がいを持つ人の人権に配慮した対応を考える機会を設けた。 | 人権啓発課H29 |
| 玉名市地域包括支援センターと連携し、認知症の本人やその家族はもとより、地域で見守るための様々な講座を開催した。 | 高齢介護課H29 |
| 女性や災害弱者の視点を踏まえた防災分野における男女共同参画の推進 | 「男女共同参画の視点の防災」の重要性を啓発するため「男女共同参画の視点の防災プログラム研修」に参加。また「防災と男女共同参画」について、広報とＨＰに掲載し広く啓発を行った。 | 人権啓発課H29 |
| 女性消防団員の研修において、「男女共同参画の視点の防災」をテーマとし、講演を実施した。 | 防災安全課H29 |
| ユニバーサルデザインに基づく都市施設の整備 | 道路の新設・改良の際には、ユニバーサルデザインを基本として、設計した。 | 建設課H29 |

**重点目標Ⅳ･･･　男女共同参画に関する推進体制の整備**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **施策の基本方向** | **主要施策** | **具体的な取り組み** | **平成29年度の実施状況** | **担当課** |
| **１　男女共同参画推進体制の充実** | **（１）推進体制の整備** | 男女共同参画のための推進体制の整備 | 平成29年度は玉名市男女共同参画審議会を4回開催。審議会で出された意見を専門部会等で議題にして検討した。また、第３次計画について審議し、答申した。H３０年３月策定。 | 人権啓発課H29 |
| 平成29年度は行政推進委員会を2回、専門部会を2回実施。専門部会では男女共同参画についての知識習得や学習の機会を設けた。また、第３次計画内容について協議・検討を行った。 | 人権啓発課H29 |
| 男女共同参画計画の進行管理 | 各課から出された実績報告を取りまとめ、計画の進行管理を行い、ホームページで公開した。 | 人権啓発課H29 |
| 職員の能力向上と人材育成 | 女性職員の各種研修への参加は確実に増加しているもののまだ十分とは言えない。H29派遣研修参加者延べ49名：内女性職員21名全体的な基礎研修は、計画どおり実施。H28から女性職員向け研修も実施している。 | 総務課H29 |
| 女性職員研修への積極的な参加に向け、人材確保に努めた。 | 人権啓発課H29 |
| 総合的な相談体制の整備 | 1. 市　民　相　談　　 　　　　40件
2. 消費生活相談　　　　　　721件
3. 多重債務相談　　　　　　480件
4. 生活困窮者相談　　　1,516件

『無料法律相談』＜弁護士無料法律相談＞毎月第2・第4水曜日開催　　　　　　　　　　　H29相談件数103件＜司法書士無料法律相談＞毎月第1・第3水曜日開催　　　　　　　　　　　H29相談件数63件（時　　　間）　　13:30～16:00（相談件数）　　1回　　5件　　　　 | くらしサポート課H29 |
| 手話通訳者の設置の利用は毎月平均２０件以上ある。手話通訳者の設置は、聴覚障がい者のみならず、健聴者にとっても非常に有益である。 | 総合福祉課H29 |
| ・平成29年度婦人相談述べ件数202件・平成28年度の217件から微減であるが、相談内容はDV案件や生活困窮、離婚問題などここ近年多様化かつ重篤化する傾向にある。また警察や、医療機関をはじめ教育機関を通じての相談も増加しており、相談体制の周知も徐々に定着してきている。 | 子育て支援課H29 |
| 包括支援センターや介護保険サービス事業所などの関係機関と、定例会の開催や随時連絡をとるなど連携を図った。 | 高齢介護課H29 |
| 地域を分けて担当する地区担当制をとっており、母子から成人保健までその地区の実情を理解した保健師が関わるように努めた。また、近年複雑な要因が絡む相談が多く、内容により関係各課・機関と連携、支援した。　　　 | 保健予防課H29 |
| 国、県、他市町村や各種団体との連携 | ・県と県進委員との合同研修会に参加し意見交換を行い、地域での推進体制を構築した。・H29から県男女共同参画センター主催で「市町村啓発担当者勉強会」（年5回）が開催され、各自治体間で男女共参画推進についての連携体制をとることができた。・熊本県庁で県内市町村グループ別研修が開催され、近隣自治体や、行政規模の類似している県内自治体の担当者同士の意見交換等を行うことができた。 | 人権啓発課H29 |

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **施策の基本方向** | **主要施策** | **具体的な取り組み** | **平成29年度の実施状況** | **担当課** |
| **２　活動拠点施設の整備** | **（１）活動拠点の充実** | 男女共同参画センターの設置 | 男女共同参画センターの開設に関しては、既存施設等での活用も視野に担当課と相談しながら、今後検討していく。 | 人権啓発課H29 |